京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久仲一郎

京城西署西小門外（電話六六三）

發行所　京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（二）

山下南海

韓國が軍事上奈何なる地位に在るかは之を否定する迄もなく、一方日本帝國のヒューマニチーの爲に極東の平和を保障せんとする上に於ても亦た帝國自治上の地位より見て韓國に對する宗主權の實施は已に避くべからざる事に屬し日韓協約の精神は實に叙上の目的に適はんとするに外ならず、然るに統監政治實施以降茲に五年、統治上の主義大綱に就ては牢固拔くべからざるものありと雖も政治的政策に胚胎する手段方法の選擇實行に至りては識者をして其何事をなしつゝあるかを疑はしむるもの多々あり、曾禰統監を始め部下多くの官憲は異口同音に漸進同化政策の効果を説き英國主義の以て大なる參考資料となすべきを唱ふると雖も、朝令暮改の法律を制定し韓人をして適從せしむる所なきは何ぞや、佛國主義に沈醉するに非ざれば以て自から得たりとなし所謂日本一流の一新殖民主義を案出せんとするに在るの意乎、亦た一方在韓同胞の傾向を察せんにも自家に都合好からざれば何等の考査調査を遂ぐるなく直ちに官憲に肉薄するが如き勇は則ち勇なりと雖も斯れ余りに猪武者的なるが故に乘じて統監府を反省せしむるに由なく、却て之が爲に往々官憲の惡感を誘致し不慮期の迫害を受くることが如き余の常に遺憾とする所なり、斯くの如く朝野意思の阻隔反撥は徒らに官憲高壓主義を謳歌せしむる而己に止り、延し殖民地統治上最も忌避すべき弊害を醸成しつゝあるは韓國刻下の狀態なりと稱せんも、世上恐らくは之を否定する者非ざるべし、畢竟するに之等は成効に操急せんとする日本人の性情を暴露したるものにして若しも悶かく短き星霜に於て統治本來の目的を達し得べきものとなせば議論の生ずべき害もなく、數百年に亘る殖民史が興味ある研究を世人に提供するが如き事とてなかるべし、余は新意味に於て日本國民が性情の佛國民のそれと酷似するなきかを疑ふ、佛人が殖民地の經營上、幾多の試驗的實驗を有し、急進同化政策の最も憚るべくして之に代ふるに英國主義を以てすべきを云爲しつゝあるにも拘はらず、統治的治績の之に伴はざるは殖民地官憲が如何に成効に躁々たるの餘り、今や試驗的を名として種々の法令を發布し本國文明の直移を試みて土着民の社會組織を破碎せんとするに因すればなり、アルゼリア、チユニス及び安南に於ける狀況は如何單に土着民との接觸のみに止まらず居留本國民との關係が常に意思の疏通を缺ぎ、堪へず紛諍を醸しつゝあるは何人と雖も肯定する所なるを信ず、何れの點より觀察するも在韓官憲の施措經營は佛國主義也、政治的效果を收むる事が其基礎を根底強き居留同胞の上に置くに非して一も二もなく官憲萬能主義を振り廻し得たり賢しとなすが如きは英國官憲の統治的知識經驗に及ばざる數千萬等也と謂はざるべからず、素より殖民地の行政上何等矚目すべき實驗を有せざる在韓官憲諸氏に對し多くの注文を欲するは不可能の事なりと雖も庶幾くば奈何にして韓民啓發の理を全ふし其亦た奈何にして帝國自衛上の目的を遂せんかと謂ふが如き大綱目より政治經濟事業教育各般に亘る施設經營をなさんには今少しく英國主義の好味を玩味し以て成効に操急するの性情を矯正せざるべからざるなり然して後ち始めて官民の意思疏通し統治上最期の効果を收むるを得ん乎、乞ふ余は次に韓國人口增加の節調地として韓國を觀察し本問論究の前提となさん。

雜報

郵便貯金利下

日銀の公定利歩引下と前後して三井以外の各銀行は十一日より一般に預金利下を斷行し大坂其他の主要都市の銀行も今將に其の轍を追はんとする狀況なるが、概して預金引下程度は長期四分半より四分、貸越當座四分五厘乃至八厘の間にあり之れを年利に換算すれば年二分歩三分に充たざる割合にして普通の貯金銀行と雖も從來約五分二厘見當の預金利子を以て預り居るに拘らず郵便貯金は五分四毛の高率にあるを以て民間同業者中今日迄政府の措置を非難し利下遂進の理由となり來れるが昨今の如き一般金利低落の折柄政府は普通銀行と郵便貯金の業務とは其性質を異にするを理由として競爭的に資金を吸集せんとするは一方低利公債借替を主張せる現内閣の公債政策に矛盾せるの甚だしきものなりとし昨今殊に當業者の論難を誘致しつゝあれども政府は既に財政計畫に於ても貯金の自然增加を見越し鐵道建設改良費其他の財源に決定し居るを以て此際利下を行ふが如きは到底至難の業なるべしと

韓國大豆の品質

▲滿洲大豆との比較

近年韓國大豆は滿洲大豆の爲め著しく壓迫を受け居るのみならず滿洲大豆の歐洲輸出開始以來大豆は世界の注意商品となりしに拘はらず未だ韓國大豆の成分を調査したるものなかりしが昨冬大藏省關税局に於て其主要産地たる韓國咸南永興外三箇所の大豆を分析し滿洲大豆に比較したるに左表の如くなりと云ふ

滿洲及韓國大豆成分比較表

	韓國大豆 成分平均	滿洲大豆 成分平均
水分	一〇、七一四	一〇、五四〇
油分	一八、六六七	一八、五九〇
纖維	三、二五五	三、六八五
炭水化物	二五、二〇五	二三、七〇〇
蛋白質	三五、七三六	三八、三五五
灰分	四、三二五	四、八五〇

今前表に依れば平均に於て韓國産が滿洲産に比較し何れも纖維分の少なきは即ち皮の薄きが爲め品質滿洲産に優る證據にして脂油分炭水化物蛋白質三者の合計を比較するに韓國大豆は八一、七滿洲大豆は八〇、八にして前者の後者より多きこと九なり之れ韓國産の滿洲産に比較し俗に「ゴ」多き所以なりと

●統一的宗教法案

本邦内務省に於ては十數年前より統一的の宗教法案を制定するの方針を以て歐米諸國に於ける各種の宗教制度を研究しつゝありしが前年帝國議會へ提出したる草案に對し幾多の改竄を加へ最早具體的案を得たるも本邦宗教界の現狀は該法案の制定に就き頗る困難なる事情を伴ふが故に別段今期議會に提出することは爲さゞるも去り迚該法案若くは之に代るべき成案を勅令以下の命令を以て規定せんは明かに憲法第二章の規定に違反するものなるを以て適當の時期を俟ち法案として議會に提出するの方針なるが差當り必要なる取締規則又は細則の如きは勅令以下の命令的規定を以て制定することあるべしと

日本銘刀傳

第廿二席　邑井一講演

正「イヤ夫れを聽いて安心をした、何うか心を改めて貰いたい」村「お師匠様、お念の爲め伺ひますが、ケスパリ殿は何處に出來て居りまするか」正「言はずと知れた此所だ」と正宗は自分鍛ねの隱居差し、細身の業物をスラリ引拔き村正の鍛ねし新刀の物打際三寸許り下をガチリとやると、村正の刀はポッキと折れて二つになつたり、村正は暫時茫然として居ましたが　村「イヤ何うも御師匠さまの御眼識、恐入つてござります、我が身の不熟練なるをも省みずお師匠様に刀向い致しましたる段誠に恐入りました、此後は了簡を[illegible]に持ちますから……」と、是れから[illegible]家へ師匠を連れて立歸りました、正宗も彼の精神の直りましたのを喜び、そこで改めて相州流の湯加減と云ふものを讓つてお遣り遊ばした、此村正は後に千手院と改め千手院村正と號した、徳川家の時代には此の村正の刀は兎角祟りまして種々の災が起りました、伊賀の上野で荒木又右衛門に討たれた河合又五郎も村正の刀で騷動を起しましたが船越貢右衛門も村正の刀で災を招いた吉原の百人斬も村正の刀であります、所が千手院村正となつてから鍛つて刀は不思議に祟らないと申します、是れ全く村正が心の穩やかになりましてから鍛つたからであります、さて正宗は鎌倉へ立歸りましたが、なか〳〵長命の人で其後二十年八十歳になつてもまだ壯健でありましたが、何しろもう八十の坂を越れたことでありますから、額には齊海の波を寄せ腰に梓の弓を張り、壯健とは言ひながら何日生命の縮むか分らんに依つて、今生のうちに今一度京都へ上つて願ひを上げ畏れ多くも帝へ御護刀を打ち納め夫れからは諸國を行脚しての旅枕、何れを目的と定めなく、我が國の名所古蹟神社佛閣を遍歴せんと、家を養子の貞宗に托して其の身は諸國行脚の旅僧と云ふ風体にて、杖に縋つて八十一歳の時、故郷鎌倉を後になし、遂に京都へ上つて、お掛りの役人へ願ひを出しまして、今生の思出に一本の刀を鍛つて禁裏へ納めました、其後は最早現世に思ひ置くことも更になしと、是れより大和へ入り奈良を見物致さんとトボ〳〵とやつて來た、彼方此方を見物して、春日神社へも參詣し、奈良の町の日向屋源兵衛と云ふ旅宿へ着致した、所が正宗はもう日本全國を行脚して歩るくには餘り美い服裝をして居つては馬士や駕籠屋が五月蠅から至つて粗末な風をして居る、何う見ても一文貰ひの旅僧としか見れない　正「ハイ、御免、宜いかな一人でも……」宿屋の亭主は乞食坊主と思ひましたから　亭「ヘイお氣の毒様ですが、手前共は安宿りではございません、御出家さん、此町外れに往くと安泊りが澤山ありますから、其處へ御出でなすつたら宜しうございませう、いくらもお連れが御座いますよ」正宗はニコ〳〵笑つて別段立腹もしない　正「アヽ左様か、お前の家は手廣でもあり且取扱ひも叮嚀であると聽いたから態々來たのだが、泊めぬとあれば已むを得ぬ、然し安宿へ尋ねて往く氣もない　亭「ヘー私共は定宿でございますから、何分にも貴僧方を泊めるわけにはなりません　正「ウム、定宿と申すが一體宿泊料は何程だ　亭「御話申すも無駄でございますが、極く上等が壹食なしの五十文でございます」此時分の五十文はなか〳〵安い金ではない、青砥藤綱が五文の錢を滑川へ落してすら、人夫を雇つて拾つた位であります、まア今日で言つたなら一晩金五圓でお宿め申しますと云ふ位の相場でございませう　正「オヽ五十文か、安いものぢやのう　亭「何う致しまして、なか〳〵安いものぢやアございません　正「夫れではの亭主、お前に此の金子を預けたら宜からう、此胴巻に澤山もないが五十兩位はあるであらう之れをそつくりお前に預けたら宿めて呉れるだらう、斯う云ふ見苦しい風をして歩るくのも實に馬士や駕籠屋などがうるさいからだ　亭「ヘイ〳〵お上んなさいまし、オイお客様だよ、ヘイ〳〵馬士や駕籠屋などはなか〳〵五月蠅ものでございます、御尤様で……ヘイ〳〵確かにお預り申しましたヘイ〳〵、アヽコレ早くお洗湯を持つて來ないか、何をグズ〳〵して居るんだ」日向屋の亭主、金を見て急に叮嚀になる、隨分現金な奴だ。



京城新報

満洲劇の開幕（七）

韓半島に及ぼす影響

黄禍論は一種の幽妄なる民族的離間の言説である、併しドー云ふ譯であつたか此幽妄なる言説が假令一時なりとも列國人の信ずるところとなつた、列國人は斯かる愚論に動かさるゝと同時に日清戰爭後の我國の**膨脹**を甚はだ**危險**なりと言始めた、列國は共同して我國を抑へんと試みた、實に馬鹿を見たのは我國である、トコロで**黄禍論の作者**は僅か二人の宣教師の生命の代りに**膠州灣を占領**した、自家撞着の行爲も玆に到つて甚しと云ふべしだ、之に引換へ日清戰爭後戰勝者たる我日本の對清政策は極めて**穩健**だつた、其後續て我對外政策は總体穩健だつた、我は三國の忠言を納れて遼東半島を還附したのみならず英米二國と提携して清國の**領土保全**及び門戸開放機會均等に盡力した、列國は我誠意を認めて黄禍論の夢から覺めた、玆に到つて黄禍論の作者は東洋の外交に於て其立場を失ふに至つた、日英同盟が出來た、日露平和恢復後日露協約が出來た、其他諸國とも種々の協約が出來た、我日本は所謂一等國となつた、東洋の外交は我を中心とする樣になつた、黄禍論先生實に顏色無きに到つた、必柄とは云ひながら人を呪へば何とやら先生遂に東洋の**外交上孤立**することゝなつた、昨黄禍論を唱へて列國を騒がし、膠州灣を占領して**清土分割**の地歩を作り其甕を上へ上へと揚げて無暗に得意がりし先生も其化の皮が剝げて尻尾を現はすに到つた、彼が東洋の外交上除者にされ孤立全く輾るなきに至つたは素より自業自得當然であるのである、聞けば先生二年前から上向きの甕を止めて下向きにしたソウだが之も調更譯れなきことでは無いのである。孤立となつた彼は之を良く云へば虎視眈々之を惡く云へば猶兒の眼を以て機會の來るのを待つた、併し機會は何時も來るものにあらずして作るものであるのだ、彼は先づ手始めに**日米間に誤解の種**を播いて離間せんことを試みた、此道具に使はれたのが在米二百萬餘の獨逸人及び**半獨逸人**たる我**周藏青木**ソレから獨逸人たる**彼の妻**であるのである、米國に於ける獨逸人の勢力は大したものだ、彼等は始め何れも素寒貧の移住民であつたが年所を經るに從ひ土着の歸化人となつて商工農業に從事し兼ねて政治法律財政宗教等に手を出し米國民の各階級に互つて其勢力を植へた、彼等は現在の**國籍**から云へば普通の**合衆國市民**である、而かも**屬人主義**なる彼等**本國**の國籍は未だ**消**ねて居らぬのである、否彼等自らが其消ゆんことを欲んで居らぬのである、彼等は英語を良くす而れども彼等相互の間は**獨逸語**を以て用を辨ずるのである、祖國獨逸は彼等の**守本尊**である、**獨逸魂**は彼等の誇である、故に幾年經つても表面は兎も角裏底から米國風に化せぬ、之を以て彼等は事毎に異正の米國人と衝突して常に**獨逸禍**（チアマンペリル）の手先きを以て目されつゝあるのである。

東京電報

▲關東都督の後任難 大島都督辭任總許となるも後任者亦同一提議を爲すべき事明かなり故に滿洲外交統一問題は決して輕視し難きものとなし政府は之が善後策に就き苦心中なり結局後任者難と共に官制改正あるべく豫想せらるゝも尙ほ今日あるべし（十八日）

▲臺灣總督府と移民 臺灣總督府にては八万圓の移民獎勵費を計上し明年度より實行に着手すべし

▲撰擧法改正問題 衆議院議員選擧法を始め貴族院の伯子男互選規則は各派とも改定の必要を認め學理的に此制度を講究せんとて議員及大學博士連を以て該講究會を設立すべく目下運動中政府も議會閉會前其成立を希望し居れり（同上）

▲徵兵事務打合會 四月十五日より十日間陸軍省に聯隊司令官警備隊司令官及師團副官臺灣總督府副官及陸軍省副官を召集し徵兵兵役召集事務打合會を開く（同上）

特報

東拓事件の上告

東拓對峯岸繁太郎氏の訴訟事件は控訴判決の結果去る十三日峯岸氏より高等法院に向つて左の如く上告せり

上告状

京城西署西小門通一番戸
上告人 峯岸繁太郎
京城明治町三丁目
被上告人 東洋拓殖株式會社
右法律上代表者總裁 宇佐川一正

總會決議無效宣言請求事件

京城控訴院判決の表示

本件當事者間の京城控訴院明治四十二年民控第九三號總會決議無效宣言請求控訴事件に付同年十一月廿九日

本件控訴は之を棄却す
新訴は之を却下す
訴訟費用は控訴人の負擔とす

との判決を受け同年十二月十五日該判決正本の送達を受けたり

一定の申立

前表示の判決は全部不服なるに付破毀の上更に相當の判決あらんことを請ふ

上告理由

第一點、原院判決理由中「商法第百五十六條の規定を案ずるに法律は會社に對して總會に於て決議すべき事項の記載を命ずるも可否の表決に資すべき材料即ち決議に要する事項の揭記を命ぜざるは明白なり云々從て本件の通知は適法にして總會決議の無效に非らざるは勿論なり」と說明せられたり商法第百五十六條の解釋は原院說明の如くにして敢て異議あるにはあらざるも本件總會の通知（甲第一號證）が果して同條の規定に適合するや否や原院に於ては適法にして無效に非らずと說明せられたるも之れ上告人の服從し能はざる所なり「商法第百五十六條第二項には前項の通知には總會の目的及び總會に於て決議すべき事項を記載することを要す」とありて即ち文字の指示する如く「決議すべき事項」は決議すべき全部の事項にして其全部の事項の題目を表示したる事業報告承認の件財產目錄承認の件「貸借對照表承認の件」「損益計算承認の件」「利益分配案承認の件」と揭記したる如きは決して法律の命じたる事項には非らざるなり甲一號證記載の如きは單に事項の表目即ち議題たるに過ぎずして議案として決議すべき事項には非らざるなり又議案の當否を判斷すべき材料と議案とは自ら差違のあり原院に於ては甲第一號證の議題を以て直に議案なりと誤認し不當に事實を認定し法律の適用を誤りたる違法の判決なり

第二、原院に於ける上告人の第二の主張即ち出席株主を假裝したる虛僞の決議なりとの點に對しては原院は之れを新訴として却下したるも上告人は第一審に於ても之れを申述したれども調書簡略にして其明記なし故に原院に於て新に主張したりとするも更に新なる要求をなすものにあらず第一第二の主張共に同一總會の決議無效宣言を要求するものにして民事訴訟法第四百十五條の規定に基き新なる事實及び證據方法を提出したるに過ぎざるなり然るに之れを新訴として却下せられたるは法律の適用を誤りたる不法の判決なり

以上

明治四十三年一月十三日 右 峯岸繁太郎

統監府高等法院長渡邊暢殿

●隆熙二年度屠獸數 屠獸法の實施を見れるは本年度よりなれば昨年中は屠場以外の場所に於て密殺せられたるもの極めて多く韓全國を通じて統計に洩れたるもの約二十萬頭に達すべしと傳へらる今尤に內部衛生局にて調査したる隆熙二年度の屠獸數を揭ぐべし

	牛	羊	豚	其他	合計
漢城	一九、〇二三	二	三	―	一九、〇二八
京畿	二三、九二一	一三	二、七六〇	―	二六、六九四
忠北	四、三三五	四七	四二八	七九八	九、八一八
忠南	一三、四四九	―	―	―	一三、四四九
慶北	一一、四六五	三〇	三、〇二一	―	一四、五一六
慶南	八、七三七	―	一、三四九	―	一〇、〇八六
全北	二、九六七	―	三、三〇四	九、五三二	一五、八〇三
全南	五、六三六	―	六、七四〇	―	一二、三七六
江原	二、〇五二	―	―	―	二、〇五二
黃海	三、四八四	―	三、三三七	四、八六九	一一、六九〇
平南	五、九一六	―	七、九九〇	七、六一八	二一、五二〇
平北	三、七七九	一〇	六、五一八	―	一〇、三〇七
咸北	一、五四四	―	二七五	六八三	二、五〇二
咸南	二、八一〇	三〇	二、四四九	四、一五六	九、四四五

●新三税の徵收成績 新に制定したる韓國三税成績の實況を聞くに隆熙三年度豫算に計上したる該税歳入總額は八十一萬圓なるが舊臘末迄に徵收せるものは約五十萬圓にして豫算に對し尙は三十万圓の不足あり此成績は一見甚だ不結果なるが如きも當該年度締切期は本年五月なれば夫迄には豫算に近き實數を得べし而して三税各別の成績は酒稅最も良好にして豫算十六万三千圓に對し十九万八千圓の現收ありて又家屋稅は二十一万六千圓なるが十二萬四千圓の收入を示めし豫算に比し五割七步强減なり更に煙草稅は販賣に於ては豫算以上の結果を得たるも耕作に於て甚しき不結果を呈し居れり這は耕作地の所在地區々に涉り課稅上支障少からざりし爲めなりと當局者は語れり

●外國貿易上半月報 外國貿易關稅局調查如左

一月上旬 外 本月上半月分

區別		圓
輸出品價額	內國產	六二五、九〇八
	外國產	二三、七〇八
	計	六四九、六一六
輸入品價額	外國產	一、五六〇、四六五
	內國產	六〇七、七〇二
	計	[illegible]
通過貨物價額		[illegible]
輸出超過		[illegible]

本年貿易額港別左の如し 本月上半月分

港別	輸出額	輸入額	計
仁川	一〇七、二三二	一五三、一六四	二六〇、三九六
釜山	二六二、九〇三	一五五、三五六	四一八、二五九
元山	三三、五六〇	四九、〇四七	八二、六〇七
鎭南浦	……	三、二一八	三、二一八
京城	一、二八四	八三、六八二	八五、〇六六
群山	九七、三〇九	二九、五一〇	一二六、八一九
木浦	八九、九七二	二九、四八二	一一九、四五三
馬山	六、〇三二	三、五五九	九、五九一
淸津	一五九	二、一〇五	二、二六四
城津	一〇、三六三	七、八三二	一八、一九五
新義州	一八、一二三	四、七一五	[illegible]
平壤	[illegible]	三、一八四	[illegible]
計	六六八、六八六	[illegible]	[illegible]

●韓內地は依然物騒 近來韓國の暴徒は大集團をなすものは殆んどなく嗾延基羽、姜基東の率ひる六十餘名の一團体のみなるも小賊の出沒すること頻繁にして去る十一日に海州郡月谷面立岩に賊魁池寬錫の率ひる三十五六名の賊團が海州郡靑要を經て纔頭に上陸し延安郡を通過して平山郡方面へ行きたるあり又十四日には揚平郡南総面に於て高安分遣所の憲兵は十五名の賊團と衝突して交戰約十五分間に及びたる由なり穀類の出廻期なる爲めに賊の橫行すること頗る多しと云ふ

●韓銀貨幣發行週報

（一）銀行券總發行平均高（自一月九日至一月十五日） 一三、三九四、二七一
內 正貨準備發行高 四、九九九、三五七
保證準備發行高 八、三九四、九一四
（二）銀行券平均手許有高 七二五、二九一
（三）銀行券市場平均流通高 一二、六六八、九八〇
（四）硬貨發行額（一月十五日現在） 六、〇五九、二四五

內

金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九九六、一五〇
同 二十錢	一、五四〇、〇一〇
同 十錢	一、〇〇五、八四〇
白銅貨五錢	七二二、〇〇〇
靑銅貨一錢	二六四、六四五
同 五厘	八〇、六〇〇

●清國葉錢の密輸入 過般來鴨綠江方面より咸鏡南北道の各地へ淸人の手を以て同國一文錢の密輸入盛んに行はれ韓錢と共に混同して使用する事實續々發見し折角整理の緖に就かんとせる貨幣制度を紊亂し其弊害洵に看過すべからざるものあるを以て當局者は嚴重に其取締を勵行して該錢の押收を行ひ一方所在淸國領事府に對して禁制品密輸入の不都合を擧げ其事實を示めして之が防止方を交涉中也と

●電燈料低減實行期 日韓瓦斯電氣株式會社に於ける電燈料は韓美電氣會社の定めたるものを依然踏襲し居りて瓦斯使用料に對し比較的高價にある爲め同社にては疾くに之れが改定の必要を認め既に料金規程を立案しあるが之を現行のものに比すれば總て一割減となり居れり而して實行期は目下メートル器注文中に就き本月中には到着すべく其設備と共に直に發布すべしと云ふ

●鐵道期成會準備會 十八日正午京城日本人商業會議所に和田、中村、古城、大村、山口の諸氏相會合して京元、湖南兩鐵道期成問題に關し上京委員選定の件及兩三日中期成會總會を開催して之れが運動方法を講ずるに就きての準備會を開きたるが倘席上一昨十七日午前山口商業會議所書記長代理が米穀輸入稅引上案に關して石塚長官を訪問したる經過を報告す

●韓國銀行重役會議 韓國銀行にては昨十八日午前十一時より同行會議室に於て重役會議を開き市原總裁以下各重役並に度支部より監理官野坂事務官出席し來る二月十七日東京に擧行の第一回總會に關する準備及今期に於ける營業成績及決算等に就き協議する處ありたり

●朝鮮日日新聞再禍 朝鮮日日新聞は東拓攻擊記事を連載して發行停止を命ぜられ四日間休刊して漸く解停して昨十八日其次號を發行したるに又々發行停止を命ぜられたり該紙に對する世人の同情は此再禍を聞きて一層熱騰し昨朝來同社の門前は見舞客織ふが如く出入し居たり

●忠北地方牛種改良 忠淸北道に於ては牛種改良の爲め韓國種牛十六頭を選買を以て北韓地方より購入の計畫ある由なるが同種牛は道に於て管理飼育し巡回交尾の用に當て道內一般の牛種を大刷新すべしと

●山根侍從武官入京 駐韓軍隊慰問の爲差遣されたる侍從武官山根一貫氏を十八日夜南大門驛着入京したるが宿所は京城ホテル右に付竹內軍司令官副官は釜山迄出迎へたり

●同志會特派員歸期 滯京中なりし朝鮮問題同志會特派員五百木良三、大谷誠夫の兩氏は今十九日午後十時南大門發列車にて歸京す

●韓國人形出品計畫 名古屋福岡の兩共進會に於て韓國人風俗を紹介せんが爲め人物大の人形を出品せんと農商工部にては計畫中なり

●韓國銀行出納監査 韓國銀行監理官藤原正文氏は昨十八日同行に出向し別項重役會議の終了後出納の監査を執行したりと

●荻田書記官の出發 日英博覽會事務及殖民地制度視察の爲め渡歐の荻田書記官は今十九日橫濱出帆米國を經て英國に赴かるゝ由なり

●財務監督局の官制 十八日官報を以て財務監督局官制改正を公布し六局を七局とし定員增加せり

●參與官の定例會議 十八日午前十一時半より統監府樓上會議室に於て參與官定例會議を開きたり

●仁川の新道路竣工 仁川敷島町より租界停車場に達する道路改修工事は一昨十七日竣工したりと

●山根武官と恩賜品 十八日夜入京したる駐劄軍慰問使山根侍從武官は恩賜品を奉持せりと

●大屋局長の日本行 鐵道管理局長大屋權平氏は一昨十七日夜行列車にて日本に向け出發したり

●屠獸數月報報告 屠獸法の實施と共に屠場數、屠殺數、禁停處分をなしたる數等一定の書式により各道より屠獸月報々告をなさしむる事と爲したりと

●支店長の歡迎宴 仁川信夫理事官の發起に係る十八銀行支店長森氏歡迎會は十八日午後六時より八坂樓に於て開催せしが來會者八十餘名盛況なりき

●軍司令官の招宴 大久保軍司令官は今回旭川聯隊長に轉任せし安達大佐を官邸に招待盛大なる袂別宴を張れり

●同志社の同窓會 昨十八日午後六時より同志社出身者の同窓會を京城ホテルに於て開會したるが盛會なりしと

●龍山議員新年宴 十七日龍山八景園に於て民團議員の新年宴會あり京城より三浦理事官も出席し盛會なりしと

●燈台局長新年宴 仁川燈台局長鳥氏は十七日自宅にて新年宴會を催ふし宮木稅關長も廿二日新年宴會を催すと

龍山居留民會

豫定の如く一昨十七日午後二時より開會されたり出席議員十三名議案第一號より同第六號迄は議事の都合に依り後廻はしと爲し先づ第七號案明治三十九年度に於て第百三十銀行より借入れたる民團債金參千圓の內明治四十一年度償還額二千圓は同年度居留民團歲入に多大の不足を生じたるに依り（四十二年度に於ても償還する能はず）明治四十三年度に於て償還せんとす を提出す四番（竹內）は起て右借入金の利子を問ひ番外二番（會計役）日步三錢五厘なりと答ふるや四番は然らば甚だ低利なりといふを得ず寧ろ此際民團基金中より之れを償還し民團基金は歲入金を以て塡補するを可とせずや斯くせば少なくも年一割余の金利丈は之を節し得るにあらずやと演ふ番外一番民團基本金は龍山醫院に貸付け月一步の利子を附せしめあり金利に於ても多くの損失無きのみならず今直ちに回收し能はずとて事の成來りを說明す於此出來ざる相談は遂に出來ずとあつて原案可決次に提出されたる議案第八號は既報京城旭町居住畑彌右衞門の滯納金處分方に關する件なるが番外一番は說明すらく畑彌右衞門の桃山遊廓地一千坪を民團に寄附し之れを代價に見積りて金七千圓を數次に納入するの契約を爲しながら其履行を怠り滯納額四千七百圓に達し如何に督促するも應せず遂に契約履行の誠意無きものと認むるを以て訴訟を提起せんとするものなりとして京城旭町居住辯護士岡田榮を代理人とし時に十三番議員渡邊與三郎といふ者あり實業議長を呼で起ち本題は之れを秘密會議に附せられたり若し議事の模樣が新聞の雜報に出るなどのことあらば債務者に警戒を加へしめ或は場合に依りては債務者が財產を隱匿するやも知れず斯くては訴訟を提起するも勞して効十六番（坂）此事たる事態は既に世間に知れ渡りたることにして當事者は固より事の如何に落着すべきやを熟知せり殊に訴訟の結果金を收納し得べきやは大なる疑問に屬す去ればは訴訟を提起すといふも要は唯此の事を永く未解決の間に懸け置くを厭ふが爲めならざらんや果して然らば秘密會議に附するの要無けんとて十三番に反對す然れども流石は龍山民會者も無く秘密會議に移して了へり第九丁議案も第四丁案に關聯するものゝ由にて之れも秘密會議民團の財政を議する龍山民會は一私人の內房乃至雜貨屋の台所とは少しく違ふ譯なるに右秘密會議を開かるゝ前民團功勞者表彰規定に關する委員の報告あり終て議長は明十八日引續き開會の旨を宣し好物の秘密會議は洩るゝ迄は分らず（四時半閉會）

●撤秘書役長出張 東拓會社に於ては製糖事業計畫に就き撤秘書役長は之れが用務を帶び黃州及平壤方面へ向け十八日午前出張したり

●服部暢氏の入社 元京城日報主筆たりし服部暢氏は今回東京朝日新聞に入り奉天特派員は命ぜられたりと

●湯淺警部長入京 平安南道警察部長湯淺秀富氏は一昨十七日入京せり

▲治外法權▼ 去十六日の本紙に揭載した韓國銀行の記事に關し辨明的の記事が木村營業局長の談話として十八日の京城日報に現はれた、木村局長曰く昨年末の決算に於て九万二千圓の缺損は本當だが本行が他より低利の借入金を爲す迄は資金の都合上公衆に向つて一切貸出若しくは手形の割引を爲さゞる方針なりと報じたのは誤りだと▲記者は木村局長が果して京城日報所載の如き談話を爲したか否やを確めんため十八日韓銀に木村君を訪ねた、逢ふて話をして見ると之は亦案外京城日報の記事は根本的に間違つて居ることを發見した、日報の經濟記者先生モー一遍木村君を訪ねて前記事の訂正をしたら宜かろう▲ソレはソーと韓銀が三百萬圓の逆金を持つて居るなどゝは全然架空の事で之は木村君が銀行思から、勉めて見て居る夢に過ぎぬ、實際の韓銀目下の狀況は貸出や割引をせざるにあらず能はざる程に資金の欠乏を告げて居るのである、其次第は明日の紙上に御披露申すことにしよう▲韓銀の揭示黑板に市原總裁閣下本日午後三時南大門驛へ御着相成候に付右告示すとの秘書役長からの告示があつた、勅任待遇の總裁はこうなくてはならぬ實にや淚の溢れる話だ、資金は皆無でも貸出し割引は出來ると心得て居る重役連は何れも閣下として黑板に載る資格があるのだ。

●日本人主事人選難

●地方技術官の新置

(三)　第三百十二號　明治四十三年一月十九日　(第三種郵便物認可)

拳骨（九）

桃睦

「フッフヽ〳〵フ」案山君の書斎に通るが否や呑海居士は噴き出した、案山子は書版を前に今や辨當を食つて居る最中である。

「どうだ君辨當飯は甘いか」と尾久十君共々に机の傍に腰を下す。

「うむ中々食へる、十二錢とは安いもんだ」對手の顔は見ずに書版にのみ眼を注ぐ、其答には君々輪廓の出來上つた廣原の景が書かれてあるので。

「今日の樣な日に可く筆が執れますね」と尾久十君は晉を捻る。難を聞いて始めて知つた樣に、

「れゝず間は實に失敬した」と食ふて了つた器なぞは其儘に直と書面に向き直る。

「オイ些度待て」

「何か」と依然其儘だ、

「ま、些度此方を向け、吾輩等二人は今夜何しに伺つたと思ふ」呑海居士が頗る眞面目で云ふ、

「妻の事共おやらうが、ありや放擲つて置いて呉れ」

「だつて此の儘ぢや君困るでせう」尾久十君は何處迄も情の人だ。

「困つても詮方がない、僕の方から態々迎ひに往く譯にも往かすさ」

「然うだ共」呑海は吾が事の樣に勢ひ附いたが、

「併し君は夫人が何處に往つたかと云ふ事はまだ知るまい」

「知つとる」

「ほ、どうして」

「先つき這麼手紙が來た」と懐中から一封を投げ出す、と拾ひ上げた呑海の眉は急に顰まる、花房逸二殿、雲水、と記してある。

くる〳〵展ひて讀み了つたが、

「何だ失敬な、馬鹿にしとる」バリ々々と引裂ひて了つた。

「雲水と云ふ狸實に失敬な奴だ、酔ひが醒めたら迎ひに來いとは何だ、君も酒が過ぎる樣だとは何だ、僕も一度拜眉の上御忠告はするがとは愈々何だ無禮千万な、君は何と云つて返事を遣つた」と詰め寄る。

「別に何とも云はん、吾輩の酔ひは何日醒めるやら今の處見當がつかぬ、随つて何日妻を迎ひに往けるやら見當がつかぬから迷惑だらうが酔の醒める迄預つて置いて呉れと云つて遣つた」

「然うか楽いツ、序に最う永久に酔びを醒すな、吾輩が忠告する」

「君那樣忠告は可くないよ、花房君も今少し眞面目に考へて見ては怎うですか、問題が問題だから」

「可し夫れぢや吾輩が其間の消息を解釋やう、可いたらうね案山」と答を求むる。

「搾はんさ」

「然うか、然うだよ」と尾久十君は向き直つて、

「此の消息を明かにするには勢ひ案山君の古疵を發表せねばならんが是れ以上で止を得ん、聞き給へよ、十年許り以前東京柳橋に金吾と稱する藝妓がおつた」

「ハッ〳〵ハ、吾輩は便所に往つて來やう」と案山君は逃げ出す。

東西相撲の絶交

▲東京方より絶交す

大阪力士大木戸が吉田司家に古實門人の證を突ッ返へして此程住吉神社にて横綱免許の式を擧げたるは既報の如くなるが東京相撲協會にては苟くも日本相撲道の古實を無視したる大阪相撲は力士の與に齒すべきものに非ざれば今後合併興行を爲さゞるは勿論の事一切是までの交際をも斷絶すべきものなりとなし去る十三日左の絶縁狀を大阪相撲協會に向け發送せり

拜啓愈々御清榮奉賀候陳ば貴協會は吉田家と絶縁の上横綱免狀は貴協會に於て交附せられ本月五日授與式御決行の趣承知仕候然るに我協會員は常陸山、梅ケ谷の兩横綱何れも吉田家の門人に有之候に付我協會は今日以後貴協會に對し不得止從來の御交際を繼續する能はざる次第に御座候右爲念得貴意候拜具

●放尿から喧嘩　米倉町五十一番戸住の寺師清熊(三九)と云ふは一昨十七日午後八時頃相生町三十番戸の一岸本爲吾方の軒下にて放尿中を家人に發見されて口論を始め遂に清熊は爲吾の爲めに毆打せられ何取組を始めんとする處へ巡回の警官に認められ兩人共に引致取調の果ては放尿せし寺師も此を毆りし爲吾も互ひに罪のある者なればとて厚く説諭の上放還

●仁川花柳便り　新玉の年立ち返りし春の賑やかさは赤た別物に有之候▲近來氣燗の揚らぬは鮮樓の笑子拍子に候彼の美貌と彼の舞の手を以てしながら秋扇の嘆を發せしむるに至りしは一に秋出御前の無情冷酷に因るものにて頭是なき彼れ笑子の怨みは必ずや報ひ申さべく候あな恐しの極みよ▲次に怪燗の揚るは一富士の勇子拍子に有之候敢て美人と云ふにはあらざれど口の達者な處とチコとが此妓の呼物にて誰やらはオットセイに似て居るとか申し候▲淺岡の桝子は何處となく多淫の樣に見受け候が或る程誰れでも彼れでも秋波を送りて安賣専門を爲すは乾度慎まるべく候▲兎に角現今の仁川花柳界に於ては餘り振つた藝者なく何れも當氣鮮沈の模樣に有之候茲に於て乎梅之助の如き俠妓を渇望するは獨り雀のみにはあらず候(雀)

●韓人行旅病者　忠淸南道鳥致院生れの■龍花(二二)と云ふ韓人は當地に於て人力車營業を爲し居たりし處病氣に罹り其の重態に赴くや知人も蓄財もなき身とて其筋に施療を願ひ出でしかば事實取調の上施療患者として大韓醫院へ入院せしむ

寡婦奪取の舊慣

韓國には古來から寡婦奪取の舊慣がある今其の内容を聞くに概ね中流又は中流以下の社會で行はるゝ一種の蠻風で之が根本的原因は貞女二夫に見ねずと云ふ儒敎的信念に胚胎したものらしく妙齢にして良人を失ふも他に嫁する事が出來ず本人も又之を屈辱として終生寡婦の境遇に甘んじて居るが斯かる境遇の寡婦は偶々外出の途上等で男子の手で奪ひ去られ甚だしきは兇器を携帶したる漢子等寡婦の家に闖入して之を誘拐し去る等の風習がある斯かる漢子の無頼不逞素より憎むべしであるが之が爲め警察事故等頻々として煩累に堪へざる由で當局者も目下實情の調査と共に之が法文の立案に腐心中との事である形式一遍の舊道德に拘泥して自然の性情を抑壓するのは新時代の空氣を呼吸する者の堪れぬ處で此等の舊慣を打破すべく寡婦に嫁娶を許さうとする風潮の生じたのは正に好箇の社會問題であらう

●石油を拾得す　仁川福嶋組仲仕水島定助と云ふは一昨日海岸にて石油一箱を拾得せし旨其筋に屆出でしが心當りの者なきや

●東券番の新顔　群馬縣生れ目下南山町二丁目居留の田村やす(二〇)と云ふは元群馬縣確氷にて藝妓を勤め居たりし者なるが十日許前渡韓前借二百圓にて東券番の海山抱ねとなり今晩より

●一昨日の新町　新町遊廓一昨日の水揚は遊客七十四名に對し四百十二圓九十八錢なりき

●敷島の揚り高　仁川敷島遊廓の一昨夜に於ける嫖客數は五十名にして此揚り高は二百十七圓なりしと

歌舞伎座の初日

▲中村福圓以下の技術

旭町歌舞伎座に乘込みし福圓一座は愈十七日初日開演したり劇場内外の裝飾さては客扱に至る迄從來と一變して面目を改め仕打ち坂本の若心全く空しからざるを覺ゆ、さて出場俳優は名にしおう琴高屋の一門に荒五郎の高弟市川眼若の一派に長唄の鶴太夫も遠慮なく御へたる上、最も優れたるは衣裳にして眞に之ればかりは誇るに足る、各優の技藝に就て短評を試みんに一番目伊達實記は初日の事とて僅かに水戸街道と御殿の二場を演じたるのみなりしが水戸街道は序幕の事とて油の乘らざりし憾みはありしが御殿は流石に甘かつた又た福圓の淺岡は忠義一圖の男優りが一子千松の愛情を抑へて主君に仕ふる眞底表情、慈嚴共に遺憾なく二人の子役を使つて些々たる意識の發表からホチチンの動作に至るまで寸分の隙を見せざる處甘い者なり▲福三郎の片倉小十郎は容貌から調子に至るまで成駒屋スックリで而かも藝風は至つて澁味のある立派な立物但し片倉の作りは聊か若きに失したり▲引拔き晴間りは先づ衣裳の立派なので荒勝を取り福圓の傾城高尾實に將軍太郎の花道の入りは女と男の六法の演分け實に鮮かなもの▲中狂言は眼若の出し物で「野崎村」梅女のれ光、吉廉のれ染も共に上出來なりしが、中にも眼若の久作は荒五郎ックリてんな事を仕て居れば僞かなものだ▲切りは福圓の最も得意とせる三面の所作事記者は是迄數回彼れの三面は見物したが何時見ても甘い者だこんな事は異に天才で他の眞似の出來ぬ處師匠の高砂屋も所作に於ては僞かに一歩を讓る可く况んや現代の福助等は遠く及ばず右は記者の初日評何れ見直して細評せん(もの字)

淨藝

▲歌舞伎座　本日の替り狂言は前加々見山舊錦繪(花見より敵討迄)中れしゆん傳兵衛近頃河原の達引(堀川猿廻しの場)切鬼一法眼三畧の卷(菊畑の場)等にして其の役割は召使れ初、猿曳與二郎(中村福圓)中老尾上、皆鶴姬(中村梅女)奴江戸平鬼一法眼(市川眼若)局岩藤、井筒や傳兵衛(中村福三郎)手島主水、女郎れしゆん、奴寅藏、牛若丸(中村菊三郎)谷澤求女、奴智恵内(嵐吉緘)腰元左枝(中村菊太郎)劔澤彈正、笠原淡海(市川小文次)奥女中桐島、奴陸助(片岡當久次)天城軍次兵衛、奴三平嵐萬太郎)奥女中元芝醫者玄庵(中村昇若)

▲壽座　二日目本日の出し物は一の谷嫩軍記、義士勝田新左衛門の傳の二場にして役割は左の通り

薩摩守忠敎、源義經、勝田新左衛門(阪東大之助)乳母はやし、直實の室相模妻れしづ(市川猿志)梶原景高(市川鯉昇)倅田五平、堤軍次(市川松孝)平山武者所、寺坂吉右衛門(嵐芳之助)時忠息菊の前、下女れとら尾上梅枝)石屋彌陀六實は宗淸(片岡蝶昇)藤の局(嵐金之助)入足題し文字兵衛(市川好猿)熊谷直實、大武重兵衛(嵐録十郎)

▲平民文庫▼

▲東洋拓殖會社にては甜菜栽培をする相だ甚だ以て同社前途の爲めにれ芽出度いこつた、聞けば同社幹部は法學士連が目白押しを仕て居るとの事だが甜菜の栽培や小作米の取り立てやをなさるなら法學士よりは農學士が必要だらうに、尤も小作米取り立てや甜菜栽培の契約やに行き違ひの起つた場合農民どもを相手取つて訴訟でも提起するときの用意とすれば御尤な次第である併し夫れが些しい量見か何かは考へものである(風聞子)▲東京と大阪と兩地の大相撲は同時に開技せられました双方の櫓太鼓が互ひに天下泰平と鳴り響いてゐます果して天下は泰平かしらん(一記者)「皆さんイヤ小僧さん何う思ます(一老人)▲ハハン皆んなの眼が覺めないのは天下は泰平さエヘン(小僧)▲太平町の幾代と云ふ一寸一杯の不手輕屋は長谷川町の末廣の傍に移轉して大勉強を開始した吾々飲み黨万歲である(上ケ沙一)▲長谷川町の紅葉床の招牌の半身像は僕が通ると睨み付ける樣に思はれる併し嫌な心持ちはしない(通行男)▲京城寫眞館の大勉強は非常なものだ(吹聴子)▲歌舞伎座の福圓の腕達者なことは既に定評がある併し吾々關東者は實の處腹の中ではナンノ贅六がと思つて居たが其の演技を見るに及んで吃驚した特に其の所作事の輕妙なるに舌を卷いた流石は梅玉の高弟たるを失はぬ(或る男)▲西小門通りの淫賣屋では夜二時でも三時でも構ひなしに騷ぎ散らす附近に住む良民は非常に迷惑して居る西部署では之れを知らぬ理由はあるまい然らば知つて之れを取締らざるは要するに何等かの………(憤慨子)▲職權を以て………以下を削除する(小僧)▲民團汚吏長檢擧の其の後は何うなりましたのですか(伺度生)▲温突の火事と同樣プスリ〳〵燻つて居るらしい(小僧)▲讀者諸君當平民文庫欄の小僧を何うかして下さい何うにも斯うにも何んにでも出洒張つて半可通を振り回すので閉口しますよ(係)

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判

一月十九日月齢十二回の八甲申九紫先勝危△一白　障害錯誤生じ易し愼重事を處すべし何旅行轉住凶△二黒　總じて盛運なり大抵の事吉音信の上に間違起り易し△三碧　快欣の日なるも業務上に疎漏失念を生じ易し△四綠　兒女家畜の事に注意すべし其他無事△五黄　靜寧の日大槪の事吉但し虚詐潤色を戒しむ△六白　新事見合の事改築土木冶金の事は着手防けなし△七赤　轉側の日とす新事及復舊の事は見合すべし盗難遺失防ぐべし△八白　盛運なり依頼談合等整ふ殖産金融の業務には大に良好△九紫　謙抑を要す鑛山冶金には大に凶舟旅行出帆見合すべし

●天氣豫報(自十八日午後六時至十九日午後六時)

北の風晴

十七日(華氏)　最高溫度　二一、二　最低溫度　一二、〇

美術半襟帯〆締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

年齢十五歳位の小供入用 希望者は来談ありたし 三井物産京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻 屋 本 店

●迷犬 去年春生の白に茶褐色の斑點ある牡犬一匹迷來れり心當りの方は太平町古川床へ

多少法律事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き店拔の儘至急讓渡したし 旭町一ノ六〇 山村

廣告

熱心眞摯志多年爲斯道於酒徴候奥旨恍然似有得者矣… 易斷館 京城本町五丁目 館主 土御門派大陰陽師

三一館

●滋養と牛乳●

純良 牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

馬車配達

●衛生と消毒●

御待合 新築開業

京城永樂町三丁目永樂湯前 松月 電話一三四五番

入院隨意

中島醫院

京城本町三丁目(電話三七八番)

院主醫學得業士 中島貞信

待合 寄日 (毛筆書)

神戸資生分院

京城相生町(南門湯横)

京城梅毒病院

◎花柳病專門並、痔、注射療法

●入院隨意

院長 醫學得業士 藤田耕平 (電話一二九四)

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保

右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は郵書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質企業

京城竹園町二丁目 樋下田本店 (電話九三二番)

京城相生町(南大門通魚市場東裏) 樋下田支店 (電話一四三九番)

龍山榮水町六十三番戸 樋下田支店 電話四〇四番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)

京城旭町一丁目六十七番戸

辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

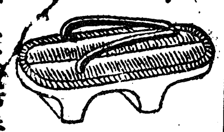
貸席

京城本町二丁目郵便局前

鐵冷温泉

電話千四百十一番

東京足袋



本店東京

京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋

藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

京城明治町二丁目(佛國教會前)

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

電話三五四番

◉新漬大根大賣出

◉新漬澤庵◉白菜漬◉奈良漬

農商工部園藝模範場御下品 官廳軍元賣捌。農業器具一式。肥料。種苗。新炭。日用雜貨。家具。工業農業消耗用藥品一式

諸官衙御用達

京城本町一丁目(長谷川町筋)

三輪商會

電話三八六番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番

時計卸小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目 電話千十五番

たやすくうります

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ツ角

卸問屋 唐川商店

電話二六一番

上等石炭各種

並に無煙炭販賣

京城本町二丁目

林田交換所

電話六十九番

石川高等法院判事閣下校閲

今村内部警務局警視閣下校閲

日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢

右發賣以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他俸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なき様勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存し隨時御記入の便に供し利用の度に在る等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微衷に有之候就ては直ちに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此際續々御用仰付られ度願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城

日韓印刷株式會社出版部

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

(電話一一一五番)

開店廣告

誠實勉强

御洋料理 すき燒

辨當 食出前仕候

京城鍾路裁判所前裏

鍾路軒

資本金 一千萬圓

積立金 五百十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

煮沸 牛乳 消毒

京城大和町三丁目

平山牧場

電話一一三

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

電話一三八二番

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)

待合 醉月

電話二六五番

●唐津石炭 直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り

近藤商店

電話八百三十五番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、罐詰、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、物食料雜、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒物特約販賣御望に依り商品切手調進仕候

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通

(電話四二〇)

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町

支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、鎭南浦、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店

(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野

東海道 名古屋、宇田、熱田、四日市、佐吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、山田、桑名、松阪

東山道 岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、大垣、長濱、大津、八幡、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎

北陸道 大聖寺、富山、伏木、新潟、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、高岡

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 玉島、福山、姫路、西大寺、笠岡、高梁、龍野、廣島、岩國、山口、柳井、府中、尾の道、三原、下關、萩、德山、小郡、長府、網干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、新宮、和歌山、串本、御坊、田邊、丸龜、高松、八幡濱、宇和島、今治、西條、松山、川之石、三津ヶ濱、尾張、撫養、德島、善通寺

西海道 久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、直方、飯塚、博多、福岡、若松

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

仁川海岸通 電話三九番

貨物及船客取扱店

郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月 後三時出

●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出

●大連行 酒田丸 二月 三日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出

御注意 郵便船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候但送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ…